

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 26 年 3 月 20 日 (2014.3.20)

【公開番号】特開 2012-169848 (P2012-169848A)
 【公開日】平成 24 年 9 月 6 日 (2012.9.6)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-035
 【出願番号】特願 2011-28977 (P2011-28977)
 【国際特許分類】

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

H 0 4 W 52/24 (2009.01)

H 0 4 J 11/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 5 4 7

H 0 4 Q 7/00 4 4 0

H 0 4 J 11/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 2 月 3 日 (2014.2.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の無線端末装置がシステム帯域中の一部の周波数に送信信号を重複して配置することを許容する無線制御装置であって、

前記システム帯域全体の干渉レベルが一定値以下に抑制されるように、前記各無線端末装置が送信信号を配置する周波数を決定することを特徴とする無線制御装置。

【請求項 2】

前記各無線端末装置に割り当てる周波数帯域の合計が、前記システム帯域以下となるように、前記各無線端末装置が送信信号を配置する周波数を決定することを特徴とする請求項 1 記載の無線制御装置。

【請求項 3】

前記システム帯域全体の干渉レベルが一定値以下となる受信電力値、および前記システム帯域中で送信信号が重複して配置される周波数の重複率を用いて自装置における目標受信電力値を算出し、前記目標受信電力値に基づいて、前記各無線端末装置の送信電力を決定することを特徴とする請求項 1 記載の無線制御装置。

【請求項 4】

前記目標受信電力値と、自装置が制御するセル固有のパラメータとに基づいて、前記各無線端末装置の送信電力を決定することを特徴とする請求項 3 記載の無線制御装置。

【請求項 5】

前記干渉レベルは、I o T (Interference over Thermal noise power ratio) で示されることを特徴とする請求項 1 記載の無線制御装置。

【請求項 6】

前記 I o T は、前記無線端末装置で行なわれる送信電力制御のパラメータにより決定されることを特徴とする請求項 5 記載の無線制御装置。

【請求項 7】

前記送信電力制御は、フラクショナル送信電力制御 (Fractional Transmission Power

Control)であることを特徴とする請求項6記載の無線制御装置。

【請求項8】

前記各無線端末装置が送信信号を配置する周波数を決定する際に、前記IoTに基づいて、送信信号を重複して配置する無線リソース量および使用しない無線リソース量を決定することを特徴とする請求項5記載の無線制御装置。

【請求項9】

複数の無線端末装置がシステム帯域中の一部の周波数に送信信号を重複して配置することを許容する無線制御装置の制御プログラムであって、

前記システム帯域全体の干渉レベルが一定値以下に抑制されるように、前記各無線端末装置が送信信号を配置する周波数を決定する処理を、コンピュータに実行させることを特徴とする制御プログラム。

【請求項10】

無線制御装置に実装されることにより、前記無線制御装置に複数の機能を発揮させる集積回路であって、

複数の無線端末装置がシステム帯域中の一部の周波数に送信信号を重複して配置することを許容して、前記各無線端末装置と無線通信を行なう機能と、

前記システム帯域全体の干渉レベルが一定値以下に抑制されるように、前記各無線端末装置が送信信号を配置する周波数を決定する機能と、の一連の機能を、前記無線制御装置に発揮させることを特徴とする集積回路。